

会員の皆様へ

一般社団法人 全国腎臓病協議会
会長 馬場 享

新型コロナウイルス感染症対策 感染者数増加に対する緊急のお願い

新型コロナウイルス感染者数は「第3波」と言われ急速に増加しています。

北海道では11月10日現在6日間連続で100人を超えています。

また、東京293人、大阪226人が新たに感染しています。大都市のみならず地方でも感染者が発生しており、加盟県組織から「外出禁止」の指示が患者に出ている施設があるとの報告を受けています。

繰り返しになりますが、透析患者や高齢者は感染リスクが高いと言われています。引き続き、会員一人ひとりが感染症対策について今一度確認いただき、都道府県を越える移動や長距離の旅行などは極力控え、不要不急の外出は行わないよう予防に努めてくださいますようお願いいたします。

また、秋から冬にかけてインフルエンザの流行が懸念されます。インフルエンザ感染症対策については、新型コロナウイルス感染症対策と同様に下記①～⑤についてお取り組みをお願いいたします。

今後も油断することなく引き続き感染症対策へのお取り組みをお願いいたします。

—— インフルエンザ感染症対策・新型コロナウイルス感染症対策 ——

- ① 外出時や通院時などマスクを着用してください。
- ② 丁寧な手洗いとアルコール等による消毒、うがいをお願いします。
- ③ 不要不急の外出は避けてください。密閉・密集・密接の場も避けてください。
- ④ 他県への移動など長距離の移動が必要になった場合には事前に透析施設に相談し、透析施設の指示に従ってください。
- ⑤ 毎日の体温測定と健康状態に注意してください。
発熱や咳、嘔吐や下痢などの症状がある場合は、透析施設に必ず電話連絡をし、透析施設の指示に従ってください。

※暖房を使用する機会が多くなります。部屋の換気等には十分ご注意ください。

必ずお読みください。そして感染症対策へのお取り組みをお願いいたします。